

平成 24 年 3 月 30 日

被災者健康支援連絡協議会
代表 原 中 勝 征 殿

東京電力株式会社
取締役社長 西澤 俊



「東京電力株式会社の電気料金値上げに関する要望」へのご回答について

昨年の当社原子力発電所の事故および放射性物質の放出により、広く社会の皆さまには大変なご迷惑とご心配を長期間に亘りおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。また、この間、電気のご使用につきましても、人命を預かる各会員医療機関の皆さまには、震災直後の計画停電の実施や夏場における節電のお願いへのご対応など、多大なご不便とご迷惑をおかけしましたことを重ねて深くお詫び申し上げますとともに、ご協力を賜りましたことに改めまして深く感謝申し上げます。

さて、ご案内のとおり原子力発電所の停止に伴う火力燃料費の大幅な増加などにより当社の収支は大変厳しい状況にあり、今年度決算は2年連続で大幅な赤字となる見通しでこのままでは遠からず燃料調達に支障を来し、ひいては電気の安定供給にも影響を及ぼしかねない状況となっております。

このような危機的な状況に対して、当社は来年度以降もグループをあげて資産売却等による資金確保や徹底したコストダウンに取り組むこととし、具体的には原子力損害賠償支援機構と協同で特別事業計画に基づく「改革推進のアクションプラン」を策定し、10年間で2兆6488億円以上のコスト削減を図ることとしておりますが、合理化努力だけでは深刻な経営状況を解消することは極めて困難な見通しとなったことから、今般、苦渋の選択として、平成24年4月1日以降、自由化部門のお客さまの電気料金の値上げをお願いさせて頂いた次第でございます。

そうした中で、この度「東京電力株式会社の電気料金値上げに関する要望」をいただきました。ここに至るまで、当社の説明内容が甚だ不十分であったことをお詫びいたしますとともに、ご不明点などについて添付資料のとおり補足させていただきます。

当社といたしましては、自由化部門のすべてのお客さまにこの度の料金値上げへのご協力を賜り、事業基盤の再構築を図り当社供給エリアにおける電力の安定供給という責務を全うしていく所存であります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

<添付資料>

- 資料1 「電気料金（自由化部門）の値上げについて」
- 資料2 「今夏における電気料金割引メニューのご案内について」
 - ・「サマーアシストプラン」のご案内（プラン活用による割引事例）
（プラン活用による割引事例）
- 資料3 「自由化部門のお客さまへの料金値上げ対応について」

以 上